

先駆けを!

学校報

望洋

夢の実現におけて!

東海大学付属望洋高等学校

編集:メディアセンター

2014年2月20日 第98号

☆最新ニュース☆

○SPP&BSSP講座を終えて
○付属高校生のためのヨーロッパ研修旅行に参加して

○高輪キャンパス・清水キャンパス 見学会

☆SPP&BSSP講座を終えて☆ ～参加生徒の感想～

SPP&BSSP 講座の4分野が終了しましたので、主な訪問先、参加生徒の感想をまとめました。

SPP 講座【情報】「日本の食文化と科学技術 VII ～生産物流システムを科学的に捉えよう～」

訪問先: 8月30日(金) 神奈川大学横浜キャンパス / 11月26日(火) コカ・コーライーストジャパンプロダクツ(株) 茨城工場
3年6組 下園 幸喜(市原市立五井中学校出身)



私たちは生産効率について学びました。例えば、計算をする作業において、A班は間違えたらその場でやり直す、B班は自分の席に戻ってやり直すというルールで実験したところ、A班の方が早いという予想に反してBグループの方が早い結果となりました。計算能力や環境などの要因が考えられました。また、紙を折る速さの計測値は予想したものでした。実際に、工場の生産ラインを見ると、後半に行くほど早く、一部が故障しても流れを貯める場所により、他のラインは動き続けられるようになっていました。今回のSPPに参加したことで、現場の知識や情報を身に付けられました。



SPP 講座【素粒子】「素粒子の世界が宇宙の謎を解く～素粒子がもたらす未来の科学技術～」

訪問先: 10月25日(金) 高エネルギー加速器研究機構(つくばキャンパス) / 12月13日(金) JAXA 相模原宇宙教育センター
3年8組 片山 真由美(市原市立辰巳台中学校出身)



私たちは素粒子をはじめ、宇宙のことについて学びました。最初の頃は素粒子という言葉も知らず、とても不安でしたが講師の方が丁寧に教えて下さいました。素粒子のことが分かってから、「はやぶさ」に使われているイオンエンジンについて学びました。実際に「はやぶさプロジェクト」に参加していた研究者の方にお話を聞き、実験装置も見ていただきました。宇宙という未知の世界のことを熱心に研究している様子を見て、みんな驚いていました。その後は、

来年の冬に打ち上げる予定の「はやぶさII」について話を聞き、どのようなイオンエンジンがよいかを考えました。どれも普段経験できないようなものばかりで楽しかったです。ありがとうございました。



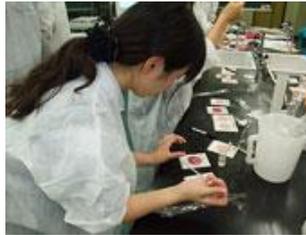
BSSP 講座〔環境〕 「私たちが考える地球環境区～食品衛生と水産資源～」

訪問先：8月22日（木）～23日（金）東海大学清水キャンパス、東海大学社会教育センター海洋科学博物館

2年8組 福永 健太（千葉市立越智中学校出身）



私達2年8組は、静岡県にある清水キャンパスを訪れ、BSSPの学習に参加しました。一日目の講義は「魚の利用法」について学びました。実習では「魚の活け締め」という作業があり、少し残酷でしたが、興味の幅が広がり役に立つ授業でした。二日目には食の安全を守る「HACCP」システムを学びました。手洗いなどで汚れがどの程度落せるか、食中毒の菌を見つけるための実験など、身近なテーマでとても面白い話でした。また、大学の校舎も見学でき、自分の将来を考える良い機会となりました。



BSSP 講座〔歴史〕 「古代の世界を解き明かすサイエンスⅡ～考古学に活用される科学技術～」

訪問先：10月18日（金）日本科学未来館／11月19日（火）千葉市科学館／12月7日（土）国立歴史民俗博物館

1年8組 広川 亮子（長生村立長生中学校出身）



私たちは、BSSP 講座の歴史というテーマで科学館や博物館を見学しました。初めはなぜ歴史とあまり関係がない科学館へいくのだろうと思いました。しかし、講座を重ねるにつれて、古代のことを調べるためには科学技術が必要で、歴史と科学が繋がっていることを学び、教科にとわれない幅広い勉強をすることが大切だと感じました。また、グループでのプレゼンテーションは、自分の考えを伝える難しさを知る良い経験になりました。この経験を生かして、少しでも積極的に話をする事の出来る人になりたいと思いました。



☆行事☆ ～望洋高校、日々の素顔～

第33回付属高校生のためのヨーロッパ研修旅行 12月18日（水）～12月28日（土）

2年2組 塩野谷 衿佳（八街市立中央中学校出身）

私は、12月18日から28日までの11日間ヨーロッパ研修に参加しました。夜行列車、飛行機の乗り換えなど海外での初めての体験が多くありました。海外は日本より治安がよくないので、自分の身は自分で守るということを事前学習で教わりました。クリスマスシーズンだったので、ヨーロッパや海外の国々にとってクリスマスが日本と比べてとても重要な文化だということがわかりました。11日間という長くも短くも感じたこの時間で、現地の食べ物を一緒に食べ、同じ場所で共に過ごした仲間にはかけがえのない財産になりました。



主な訪問先：デンマーク王国（コペンハーゲン）、ドイツ連邦共和国（ミュンヘン・ホーエンシュヴァンガウ）、オーストリア共和国（ザルツブルク・ザルツカンマーグート・オーベルンドルフ）、フランス共和国（パリ）

東海大学情報通信学部見学会 1月25日(土) 高輪キャンパス

進路指導主任 大内 賢一



1月25日(土)に東海大学高輪キャンパスで望洋高校生のための情報通信学部見学会が行われました。当日は生徒29名、保護者31名の合計60名が参加しました。最初に、情報通信学部長の吉田先生より歓迎のご挨拶をいただき、後に情報通信学部の4学科(情報メディア学科・経営システム工学科・通信ネットワーク工学科・組み込みソフトウェア工学科)について、それぞれの学科の特徴や学習内容について詳しく説明をしていただきました。その後、生徒は体験学習(コンピュータのプログラミング)と施設見学、保護者は校内見学と情報通信学部の就職支援体制と就職実績について説明を受けました。参加した生徒と保護者は実際に学部を体験することができ、とても有意義な見学会となりました。

東海大学海洋学部見学会 1月25日(土) 清水キャンパス

1年1組 桐谷 友子(木更津市立金田中学校出身)



海洋学部へ行きたいと強く思いました。

東海大学海洋学部を見学するために、清水キャンパスに行ってきました。この校舎は富士山がよく見える海岸付近にあり、水生生物の生態や海に関する環境を船やロボットにより調査するなど、海にかかわる研究をしています。例えば、珍しい生物や新種の魚、深海魚が網にかかる時、漁師さんから連絡が入り、先生と学生たちで引き取りに行き、観察や研究を行っています。また、カエルアンコウの生息地や生態の研究が国際的に発表されています。私もそんな研究がしてみたいと思いました。今回の見学会では、大学進学後の研究活動、勉強などへの大きな刺激になり、

連載 ~ 望洋高校をもっと知る ~

卒業生だより(28) 米村 瑞穂 氏 (1998年3月卒業 富津市立大貫中学校出身)

3年2組担任: 斎藤美由起 / テニス部 / 東海大学法学部法律学科卒業・同大学院法学研究科公法専攻修了 / 都内税理士法人 勤務

私は、都内の税理士法人で働いています。高校時代から、「手に職を持ち、自立した女性になりたい」と漠然と考えていましたが、税理士になりたいとはっきり思ったのは、大学院に入ってからでした。働きながら受験を続け、一科目ずつ合格し、漸く税理士になりました。仕事は大変ですが、クライアントから「ありがとう」と感謝された時、この仕事に就いて良かったと実感し、とてもやり甲斐を感じます。会計業界は、まだまだ男性社会であり、女性の占める割合は、1割程度と言われているのですが、コミュニケーション能力と細やかさを求められる仕事ですし、税理士試験制度が、コツコツ勉強するタイプに向いていると言われているので、女性に向いている職業だと思います。若さという最大の武器を持っている望洋高校の皆さん、これから何にでもなれる可能性を秘めているのですから、夢や目標に向かって頑張ってください。強い信念を持って諦めずに努力を続ければ、いつかきっと希望が叶うと思います。望洋高校で楽しい日々を過ごした卒業生として、皆さんの未来が明るく開けることを祈っています。



望洋リレーエッセイ(51) 小出 雄大 先生



望洋高校に着任してから1年が経過しようとしています。望洋に勤務する以前は小学校で勤めていたためか、高校生との接し方に今でも戸惑ってしまうことが多々あります。しかし、小学校でも高校でも、心から相手に「伝えたい」という気持ちを貫き通していけば、どんな人にも通じないことはないと感じました。人は、諦めそうになったり、挫折しそうになったりすることもあります。人は失敗から学び、目標の達成への努力を絶え間なくすることが大切なことだと思います。生徒たちには失敗を恐れず、たくさん失敗をして、どんな困難な道であろうと諦めずにやりきる信念をもって、これからの生活を過ごしてほしいと思います。

連絡板 ～ 日々の学校情報 ～ 緊急連絡は望洋通信システムでお伝えします。

●学園関係: ☆To-Collabo 市民セミナーで読売巨人軍・原監督と菅野選手が講演しました☆

1月8日に本学湘南キャンパス2号館大ホールにおいて、To-Collabo 市民セミナー「Legend～受け継がれる夢、そして挑戦」を実施いたしました。本学は、平成25年度の文部科学省公募事業である「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」に採択されており、本セミナーはその一環として、本学のさまざまな「知」の地域への還元や大学開放を企図し、地域課題に関する講演や地域活性化につなげることを目的に開催したものです。今回は、本学卒業生でプロ野球・読売ジャイアンツの原辰徳監督（政治経済学部1980年度卒）と菅野智之選手（体育学部2012年度卒）の対談形式で実施。地域の方々を始め、旭川、札幌、高輪、代々木、清水、熊本、阿蘇の各キャンパスともテレビ会議システムでつなぎ、8キャンパスで学生や教職員など2177名が聴講しました。（東海大学）



☆付属第四高等学校で、ソチ五輪に出場するスキージャンプ競技の葛西紀明選手の壮行会を開催しました。☆

2月7日から23日までロシア・ソチで行われる「第22回オリンピック冬季競技大会」（ソチ五輪）に出場するスキージャンプ競技の葛西紀明選手の壮行会を1月22日に同校第2体育館で開催しました。葛西選手は第四高校を1990年度に卒業。92年のアルペールビル五輪以来連続して五輪に出場しており、ソチ五輪で冬季では世界最多となる7大会連続の出場となります。今大会に41歳で臨む葛西選手は、夏季五輪を含めて最年長で日本代表選手団主将を務めます。壮行会では白川裕久校長が、約800名の生徒や教職員らに葛西選手の実績を紹介。「葛西選手はこれまで、オリンピックの申し子と呼ばれるほどの成績を残してきました。大会中は学校全体で力の限り応援しましょう」と呼びかけました。葛西選手が高校在学中、スキー部監督として指導した上杉尹宏元東海大学教授は、「高校時代は練習後、一人隠れてトレーニングをするなど負けず嫌いで熱心な姿が見られました。一流選手の動きをまねるのがうまく、非常に観察力が優れていました」とエピソードを明かしました。（付属第四高等学校）



●部活動: ☆新人県大会☆ バスケットボール部 男子県大会出場／バレーボール部 男子3回戦進出ベスト16／女子県大会出場／サッカー部 3回戦進出ベスト32

●配布文書: 「第28回卒業証書授与式・謝恩会のご案内」(3学年) 1月29日／「保健だより第10号」1月30日／「第28回マラソン大会について」2月6日(木)／「学校評価アンケートの回答について」2月7日(金)／「第28回マラソン大会中止について」2月12日(水)

<2月の主な行事>

2月21日(金)	1・2年学年末試験～25日(火)
2月22日(土)	後援会3年理事会(卒業対策)3
2月26日(水)	生徒自宅学習(採点日)
2月27日(木)	1・2年答案返却(6限) 3年登校日4(4限)
2月28日(金)	1・2年特別授業 卒業式予行(4限)

<3月の主な行事>

3月1日(土)	第28回卒業証書授与式
3月3日(月)	1年 特別授業 ～7日(3限) 2年 研修旅行事前指導(3限)
3月4日(火)	2年研修旅行 先発団～7日(沖縄) 後発団 自宅学習 新2年スタディーサポート(5限)
3月5日(水)	2年研修旅行 後発団～8日(沖縄)
3月8日(土)	1年特進・先発団 生徒自宅学習

3月10日(月)	生徒自宅学習
3月11日(火)	1・2年特別授業～12日(3限) 土曜講座(4・5限に振替)
3月13日(木)	生徒自宅学習
3月14日(金)	修了式(4限) 後援会理事会3
3月15日(土)	1年 東海大学オープンキャンパス (湘南キャンパス) 第1回新入生オリエンテーション 後援会役員会4

※2月8日(土)の土曜講座、ニュース検定、漢検は大雪の影響のため中止。土曜講座は3月11日(火)、ニュース検定は2月12日(水)、漢検は来年度実施。

※2月13日(木)のマラソン大会は大雪の影響のため中止。

※2月15日(土)の数検、SPP・SSH成果発表会は大雪の影響のため中止。数検は2月17日(月)実施。

編集後記

本年度のSPP&BSSP講座は、[情報][素粒子][環境][歴史]の4分野で実施された。素粒子の講座では、イオンエンジンの話を受講した。イオンエンジンといえば、2010年に小惑星「イトカワ」から試料を持ち帰った「はやぶさ」で一躍有名になった。一時は音信が途絶えたが、奇跡の生還を果たした。来年には、はやぶさⅡが打ち上げられるという。このように、最先端の科学に接している生徒が、どこかで、10年後、20年後に、日本の、人類の、夢の現場で活躍していることを願う。

●学校報 第98号 / 東海大学付属望洋高等学校 〒290-0011 千葉県市原市能満1531 TEL 0436-74-4721 ●